

1 上尾市自転車のまちづくり基本計画の概要

1-1 計画策定の背景 P 1

第2期都市計画マスタープラン『上尾市都市計画マスタープラン2010（平成23年3月）』において、将来都市ビジョンとして「質の高い居住環境と自転車のまち“あげお”」を掲げ、本市の都市特性を生かした魅力あるまちづくりに取り組むため、市民・事業者・行政の協働の理念の下に自転車施策を推進し、かつハードからソフトまで総合的な自転車施策を横断的に展開するため、平成26年（2014年）3月に『上尾市自転車のまちづくり基本計画』を策定。



1-2 「自転車のまち“あげお”」の目標・ビジョン P 4

計画では「自転車のまち“あげお”」の実現に向けて、次のとおり目標・ビジョンを定めた。

- (1) 自転車が快適に利用できるまち
- (2) 自転車マナーが良く安心・安全なまち
- (3) 上尾市＝自転車とイメージされるまち

《目標・ビジョン》

**(1) 自転車が快適に利用できるまち**

- ① 自転車走行空間整備・自転車走行ネットワーク構築
- ② 自転車走行ネットワークの拠点整備
- ③ 公共交通との連携・公共交通として活用

**(2) 自転車マナーが良く安心・安全なまち**

- ① 交通ルール・マナー教育のための人材育成
- ② 交通ルール・マナー教育と意識啓発の推進
- ③ 危険を排除し、交通弱者の安全確保

**(3) 上尾市＝自転車とイメージされるまち**

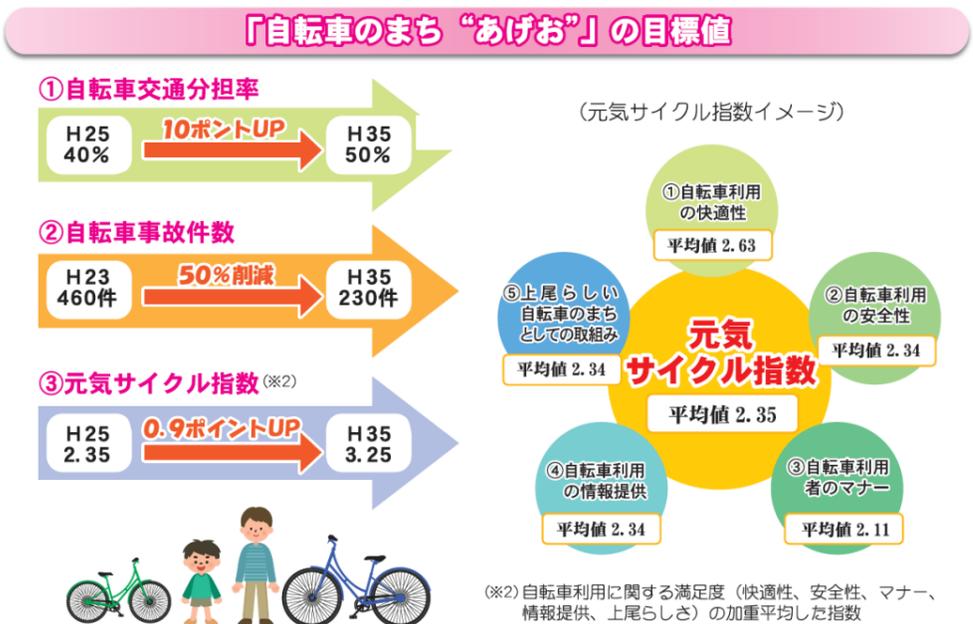
- ① 「自転車のまち“あげお”」の情報発信
- ② 地域資源やイベントを活用した地域活性化
- ③ 自転車利用促進による健康づくりや環境保全

1-3 計画の目標値 P 5

計画の目標値は、

- ① 自転車交通分担率
- ② 自転車事故件数
- ③ 元気サイクル指数  
(自転車利用の満足度)

を目標指標として定めた。



2 評価の視点、手法

2-1 施策について P 6

計画に定めた目標・ビジョン「(1) 自転車が快適に利用できるまち (2) 自転車マナーが良く安心・安全なまち (3) 上尾市＝自転車とイメージされるまち」について、施策の実施状況やその結果を考察するものとした。

加えて、自転車に関する市民アンケート調査を実施し、その結果を踏まえて目標値（目標指標）の状況等や目標・ビジョンについて評価するものとした。

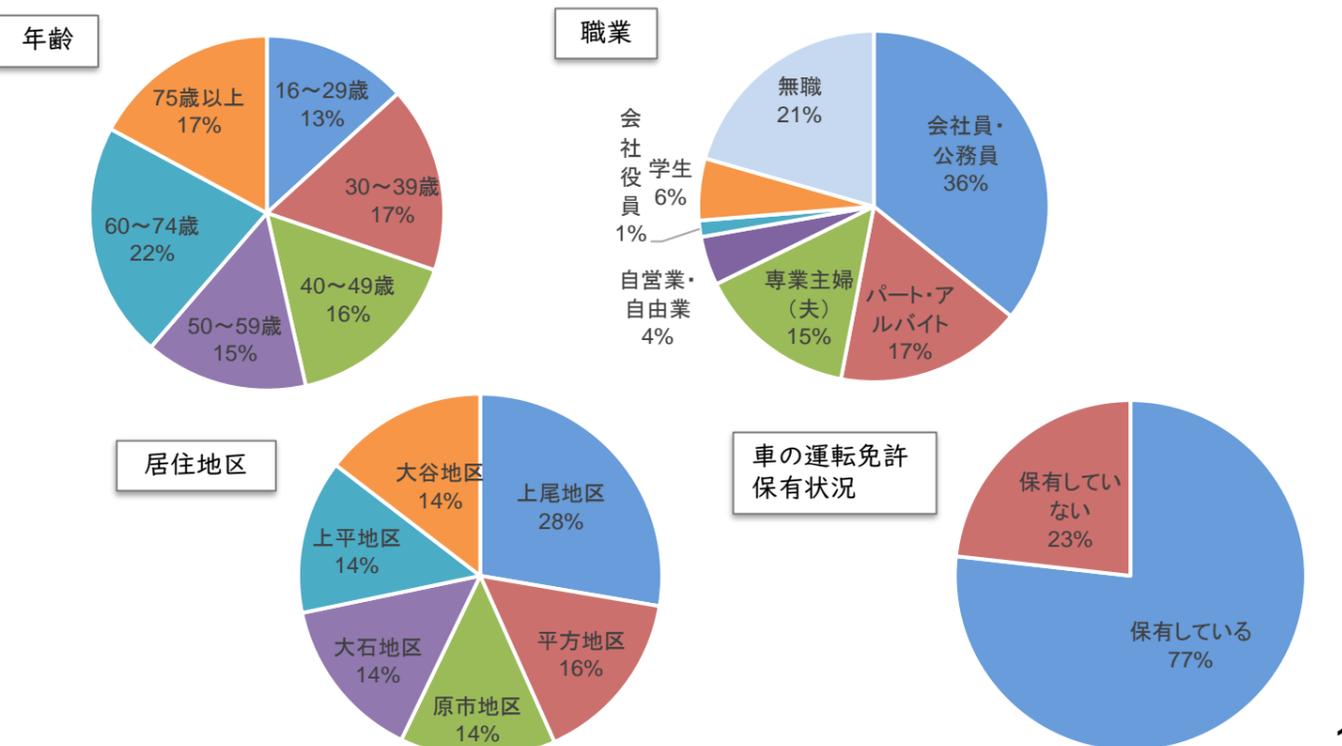
2-2 市民アンケート調査について P 6

本市の自転車利用の現状把握や、これまでの自転車施策の取組を評価し、今後の本市の自転車施策のあり方検討の参考とするため、令和5年（2023年）に市民アンケート調査を実施した。

〈アンケート調査結果概要〉

対象	16歳以上の上尾市内在住者
抽出	無作為（2,000人）
実施方法	調査票を郵送配布し、郵送またはWEB回答による回収
実施時期	令和5年（2023年）11月30日（木）～令和5年（2023年）12月31日（日）
回収数	668通（郵送：453通、WEB：213通）
回収率	33.4%
設問数	15問

回答者属性



3 施策の取組状況と評価

3-1 施策の取組状況

P7~P17

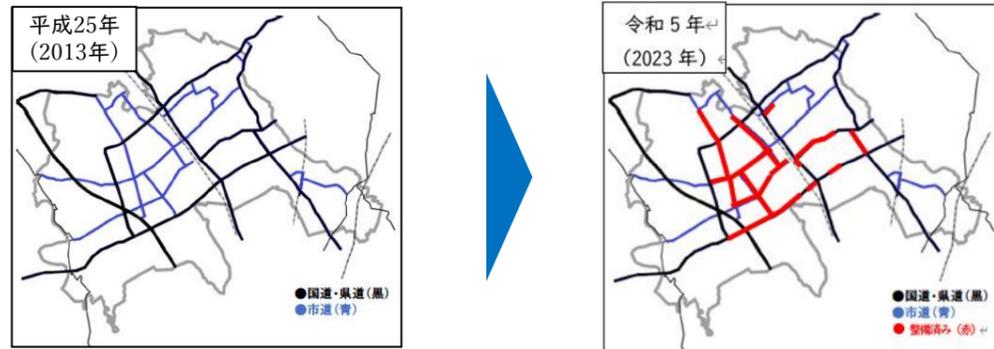
(1) 自転車が快適に利用できるまち

➤ 自転車レーンの整備

概要

市内の拠点となる施設をネットワーク化する考えにより、『上尾市自転車ネットワーク計画』を定め、市道32kmの区間に自転車レーンの整備するもの。令和5年(2023年)時点で、市道約10.3kmの区間(約32%)において自転車レーンの整備が完了し、自転車の通行箇所を明確化と自転車ネットワーク形成により、快適な自転車走行空間が創出された。

■上尾市自転車ネットワーク計画に基づく整備状況



➤ 公共交通との連携

概要

クルマから自転車および路線バスへの転換による市中心部の渋滞緩和、環境負荷の軽減、自転車とバスの相互利用促進を図るため、市内5か所の支所周辺を“バスライド整備エリア”として位置付け、各支所の駐輪場内に、サイクル&バスライド利用者用駐輪スペースを設置した。

➤ 自転車レーン通行状況の調査

➤ 路上駐輪場の設置可能性の検討

(2) 自転車マナーが良く安心・安全なまち

- 自転車マナーアップ教室の開催 (H25~H29、計12回 (小学校5校、中学校7校))
- 自転車運転免許取得講習会の実施 (H25~H29、計5回)
- 自転車の乗り方・楽しみ方講座の開催 (H26~H29、計13回)

(3) 上尾市 = 自転車とイメージされるまち

- サイクルマップの作成
- サイクルイベントの開催
- 健康モニターの実施



3-2 目標指標の状況

P18~P22

① 自転車交通分担率

目標指標	平成25年 市民アンケート調査 (基準値/目標値)	令和5年 市民アンケート調査 (現状値)	増減	評価
自転車交通分担率	40%/50%	34%	-6ポイント	未達成

② 自転車事故件数

目標指標	平成23年「交通事故統計資料HAND BOOK」 (基準値/目標値)	令和4年「交通事故統計資料HAND BOOK」 (現状値)	増減	評価
自転車事故件数	460件/230件	162件	-298件	達成

③ 元気サイクル指数 (自転車利用の満足度)

目標指標	平成25年 市民アンケート調査 (基準値/目標値)	令和5年 市民アンケート調査 (現状値)	増減	評価
元気サイクル指数	2.35/3.25	2.69	+0.34	未達成

※市民アンケート調査の比較

自転車利用の満足度に関する調査項目	平成25年 (2013年)	令和5年 (2023年)	変化率
・自転車利用の快適性	2.63	2.88	+10%
・自転車利用の安全性	2.34	2.73	+17%
・自転車利用のマナー	2.11	2.40	+14%
・自転車利用の情報提供	2.34	2.68	+15%
・上尾市らしい自転車のまちとしての取組み	2.34	2.75	+18%
元気サイクル指数 (平均)	2.35	2.69	+14%

3-3 目標・ビジョンの評価

P23~P25

(1) 自転車が快適に利用できるまち

自転車走行環境の整備・改善として、引き続き自転車の通行箇所を明確化し、国道や県道、市道の区別なく連続したネットワークを構築するための自転車レーン整備を進めていくことに加えて、その整備効果の見える化(自転車レーンの走行安全性の啓発や身近な施設等への自転車走行を誘導する推奨ルート等)についても検討していく必要がある。

(2) 自転車マナーがよく安心・安全なまち

自転車の安全な利用についての交通ルール順守に向けた周知徹底が引き続き課題であることを念頭に、新たな交通ルールの施行と連動した取組みや、交通管理者(警察)や地域等との連携による取組みについても検討していく必要がある。

(3) 上尾市 = 自転車とイメージされるまち

今後の自転車施策の方向性としては、本市のサイクリングロードを起点とする賑わい創出の可能性を検証するとともに、国や県をはじめ、周辺自治体との連携や民間活力の活用も含めた持続可能な取組みの実施方を検討していく必要がある。